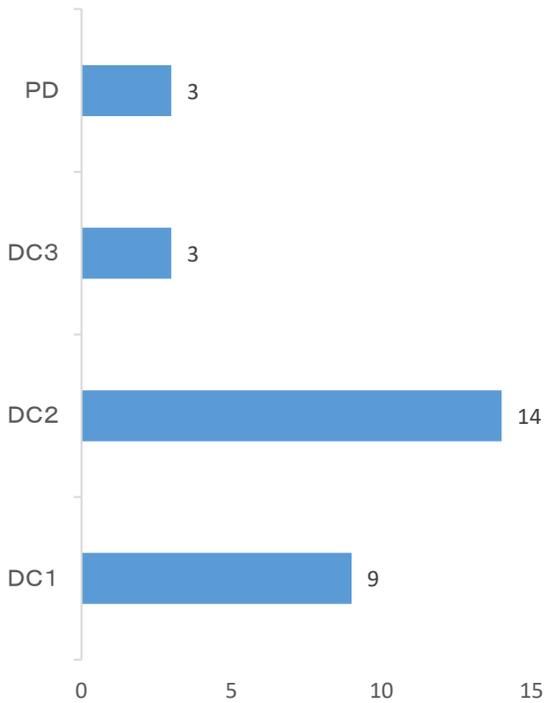


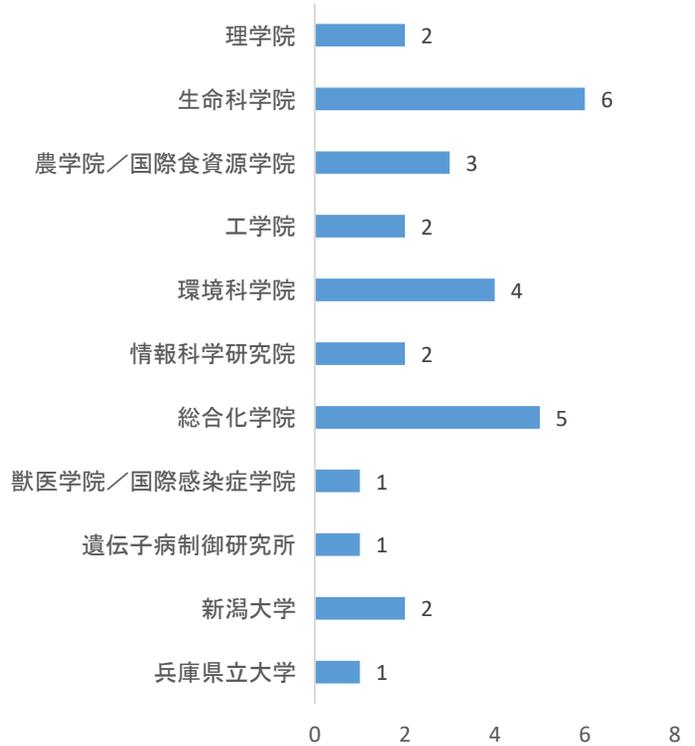
# 第50回（R4第2回）赤い糸会 アンケート

[1] 回答者：博士人材29名・企業23名（参加者：博士人材29名・企業19社）

### 博士人材学年

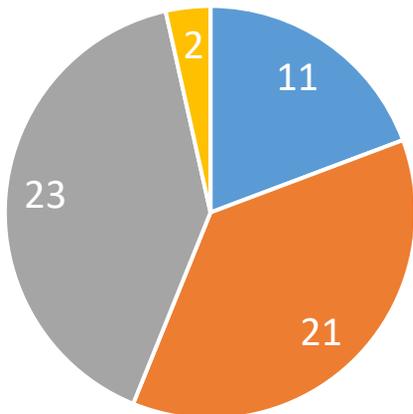


### 博士人材所属



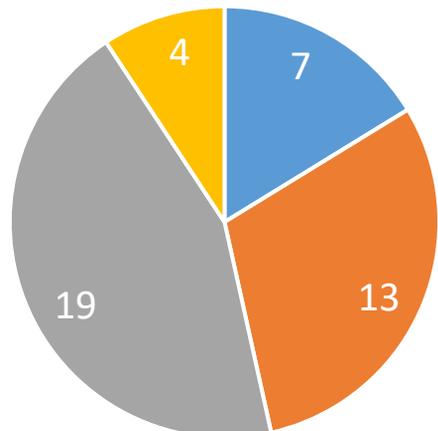
## [2] 博士人材プレゼンテーション

### アピールできた点(博士人材)



■ プレゼン技法  
■ 専門性  
■ 人物・個性・特徴  
■ ポスターのデザイン・レイアウト

### 注目する点(企業)

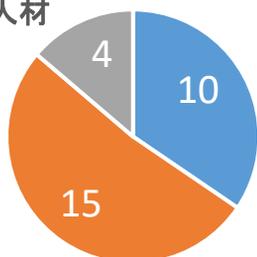


■ プレゼン技法  
■ 専門性  
■ 人物・個性・特徴  
■ ポスターのデザイン・レイアウト

### [3] 企業／博士人材とコンタクトがとれましたか？

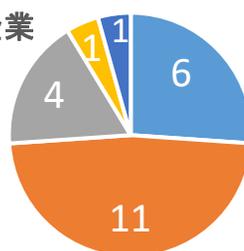
#### ■昼食会でのコンタクトについて

##### 博士人材



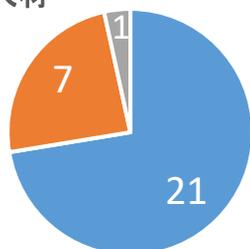
- 1. 十分コンタクトがとれた
- 2. ある程度はコンタクトがとれた
- 3. あまりコンタクトがとれなかった
- 4. 全くコンタクトがとれなかった
- 5. 不参加

##### 企業



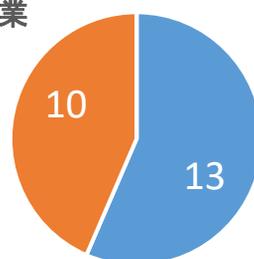
#### ■ポスター発表でのコンタクトについて

##### 博士人材



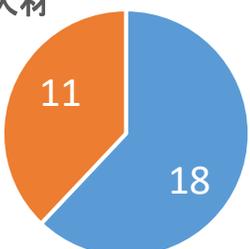
- 1. 十分コンタクトがとれた
- 2. ある程度はコンタクトがとれた
- 3. あまりコンタクトがとれなかった
- 4. 全くコンタクトがとれなかった
- 5. 不参加

##### 企業



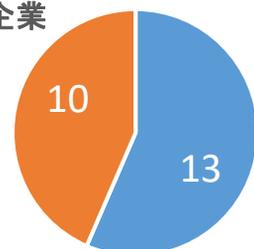
#### ■企業ブースでのコンタクトについて

##### 博士人材



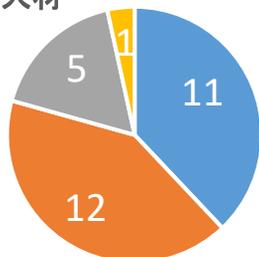
- 1. 十分コンタクトがとれた
- 2. ある程度はコンタクトがとれた
- 3. あまりコンタクトがとれなかった

##### 企業



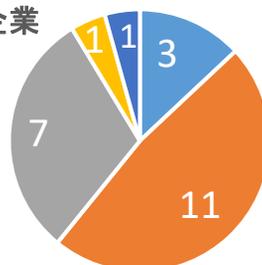
#### ■情報交換交流会（懇親会）でのコンタクトについて

##### 博士人材



- 1. 十分コンタクトがとれた
- 2. ある程度はコンタクトがとれた
- 3. あまりコンタクトがとれなかった
- 4. 全くコンタクトがとれなかった
- 5. 不参加

##### 企業



#### ■プログラム全体のコンタクトについての感想（抜粋）

##### 博士人材

もともと自分の興味があった企業だけでなく、思わぬマッチングによってお話が聞けたので、大変良い機会になった。

対面のポスター形式の方が話しやすい

オンライン開催よりも込み入った話ができたと感じる。

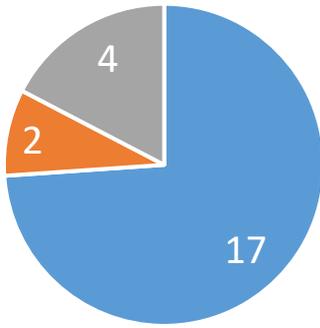
企業ブースでお話できる時間が足りないと感じました。

思ってもいなかった企業とコンタクトを取ることができてよかった。

企業の方の方からも積極的に学生とコンタクトを取ろうという意思を感じ、非常に話しやすかった。

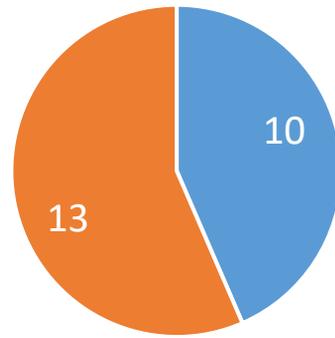
## [4] 企業のみ

### 参加博士人材について



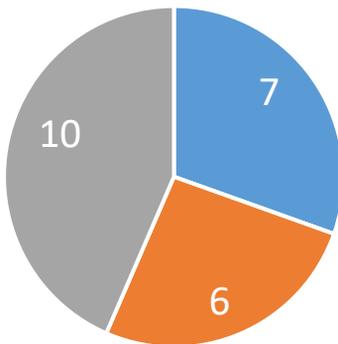
- 1. 興味のある研究内容の博士人材が多い
- 2. 興味のある研究内容の博士人材が少ない
- 3. どちらでもない

### 参加博士人材に対する今後の対応をお聞かせください



- 1. 採用したい博士人材がいたので、今後交渉を進めたい
- 2. 採用については未定だが、今後もコンタクトを取りたい博士人材がいた

### DC・PDのインターンシップ(1ヵ月位)について

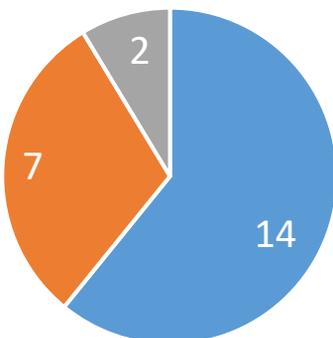


- 1. 受け入れを表明している
- 2. 受け入れてもよい
- 3. 受け入れは難しい

「3.受け入れは難しい」を選択された方：  
差し支えなければ、理由をお教えてください。

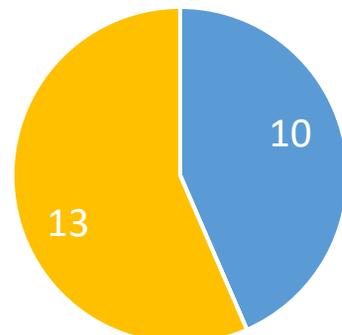
ジョブ型インターンシップに関して社内調整中となります。
インターン生を長期間お世話をする人員の余裕がない。
インターン生の方の長期受け入れ体制が無い。
長期での受け入れに関しては現在検討段階です
受け入れ職場の理解が得られない。
事業形態上対応が難しいため。
研究業務の秘匿性の観点から
1ヵ月は困難。

### DC採用について



- 1. 定期的に採用したい
- 2. 時期に関わらず、採用したい
- 3. 採用については未定

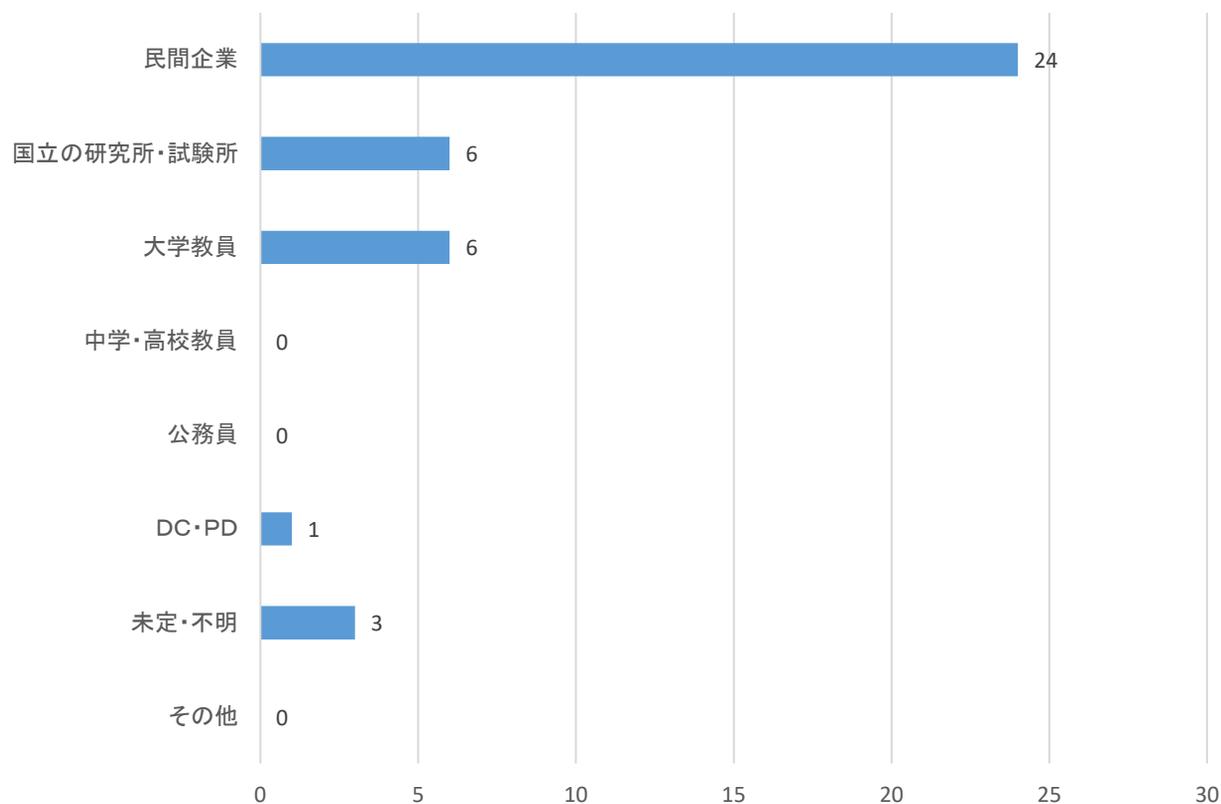
### Hi-System(博士人材と企業の双方向ネットワーク)の利用について



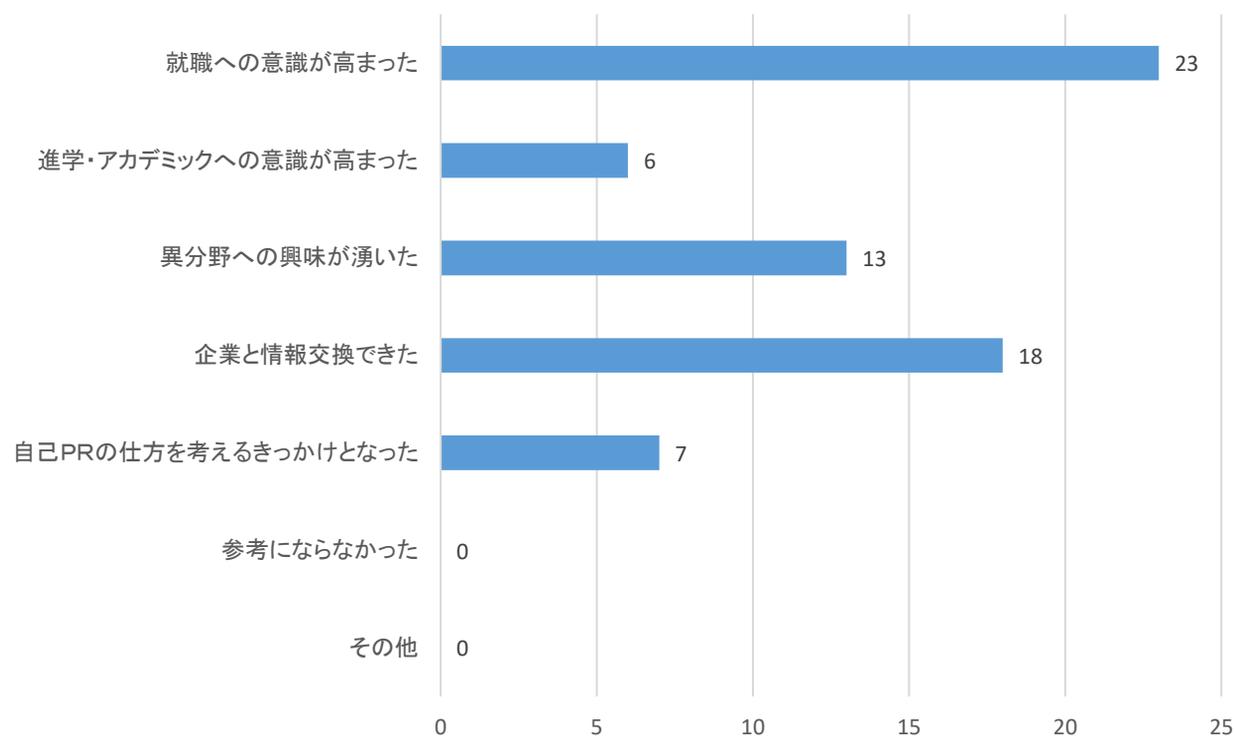
- 1. イベント参加
- 2. コミュニティ
- 3. 博士人材検索
- 4. 利用していない

## [5] 博士人材のみ

あなたは、今後のキャリアパスをどのように考えていますか？（複数回答可）



「赤い糸会」は、進路決定の参考になりましたか？（複数回答可）

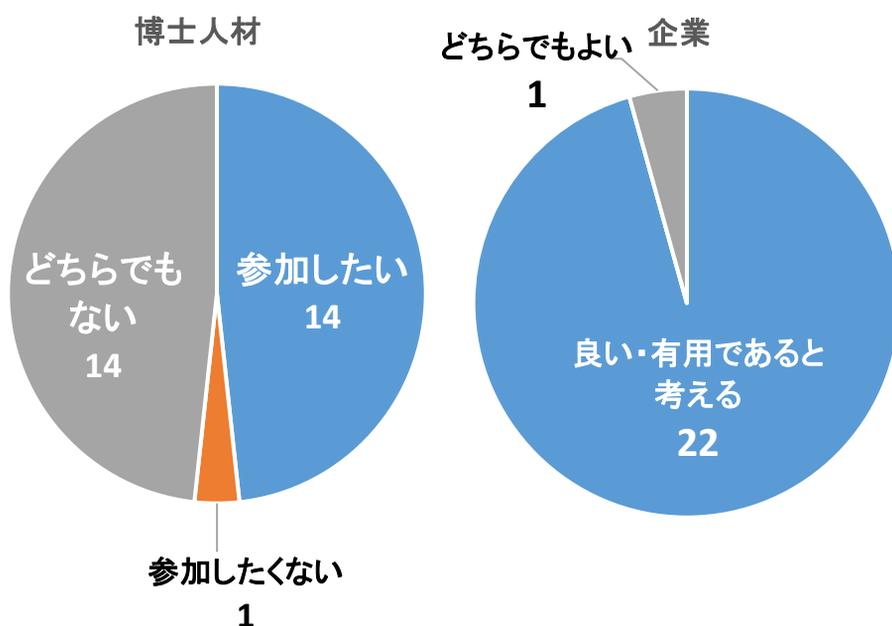


**[6] 「赤い糸会」に参加して新たな気づきはありましたか。  
それはどのようなことですか。（博士人材のみ）**

1	各企業の特徴ある事業や取り組みについて直接お話を伺えたことは、今回参加して得られた最も大きな収穫でした。博士人材の活用に力を入れている企業ばかりで、想像以上に活発な意見交換ができたと感じました。どの企業についても、研究開発の即戦力として博士人材を活用したいという熱意を強く感じました。一方で、これまでは漠然と自分は企業に就職するものと考えていましたが、沢山の企業の方からお話を聞か中で、今後研究を進めていく上で身を置くべき環境が民間企業なのか大学なのか揺らいでしまいました。当然、企業人としても研究活動は行えますし、経済面でも安定するという大きな魅力がありますが、民間企業においてはあくまでも研究成果の事業化や製品化に主眼があり、物事を深く知る、解き明かす、といった学問的な(特に理学的な)面白さを追究する機会を損なってしまうのではないかと感じました。今までアカデミアに残るという選択肢はあまり考えていませんでしたが、今回の赤い糸会を経て総合的に考え直してみると、大学に残ってさらに実践的な研究能力を身に付け、それから民間や国立の研究所に移る、という可能性も考えてみるべきではないかと感じました。
2	1)外国人でも就職ができるチャンスが十分ある 2)日本企業はCO2排出量を減少しようとしている 3)インターンシップ先をできるだけ早く決めたほうがいい 4)就職先は研究分野に限らない 5)データ解析のスキルは大事 6)博士号取得者に求めているスキルは以下 リーダーシップ 新たな研究を生み出す能力や熱心 データ解析 コミュニケーション能力
3	これまで私はデータサイエンスなどの比較的「綺麗な」仕事ばかりを好むのかと思っていましたが、今回住友金属鉱山や昭和電工の方と話をし、案外泥臭い数値シミュレーションも好きなのではないかと思われました。
4	今回の赤い糸会に参加するまではアカデミアを志望していたが、企業の方々の話を聞いたことでフラットに考えられるようになり、意外と自分はアカデミアへの固執が少ないことに気付いた。
5	自分が思っていたよりも、企業の研究は幅が広く、専門性が合わないと思っていた企業でも意外と活躍できそうな企業は多いことに気がついた。
6	メインの事業内容が自分の専門と大きく異なる企業であっても、専門と比較的近い内容の事業を展開している企業が想定より多かったです。
7	自己PRについて、これまで意識できていなかった自身の研究室でのキャラクターなどが聞き手に大切な情報になり得ることを学んだ。
8	自分の専攻とは関係のなさそうな企業と出会い、自分が博士課程で得られるものを活かせるような企業がたくさんあると分かりました。
9	自分の専門分野と一見遠いように思える企業でも、興味を持ってくださることもあり、視野を広く持つ必要があるなと感じました。
10	吉原さんから言われていたことですが、企業の自分の「専門性」という言葉の解釈にまだズレがあるように感じた。
11	前回に引き続き、専門性・問題解決能力をもつ博士学生が企業において求められていることを認識した。
12	専門に近い業界だけでなく、専門外の分野で新たな事業を始めようとしている企業もあることを知った
13	企業が見ているのは専門性もあるが、博士課程で得た汎用的な研究能力を求めていることがわかった
14	自分のパーソナリティの部分をアピールしてもほとんど意味がないし需要もなさそうである点。
15	自分が今後やりたい事をアピールすることが、何より大事だということ。
16	もっと専門的なポスターでもいいのに、とおっしゃる企業の方もいた。
17	自分の研究内容はいくつかの企業が興味を持っています

18	企業の方の見る視点がどのような部分なのか確認することができた
19	オンラインよりもオンサイトの方が圧倒的に話しやすく感じた。
20	どの企業もDXや情報系の技術を取り入れようとしていること。
21	自分が意外と専門分野に関して話すことができることに驚いた。
22	今まで考えていた企業と異なるところにもニーズがあること
23	専門外でも趣味嗜好で企業側にアピールできることもある
24	採用担当の考えや、博士人材の需要を再認識できました。
25	企業によって研究内容の受け取り方が違う
26	親身になってくださる企業の方が多かった
27	スタッフはとてもまじめで、優しいです
28	自分の能力の客観的な見方
29	研究の価値評価

**[7] 東北大学・名古屋大学・北海道大学におけるコンソーシアム（全12大学）の取組みで、本会のような各大学マッチングイベントに連携大学の学生が参加していることについて**



コンソーシアム（全12大学）の取組みについてご意見がございましたらお聞かせください。

良い取組みと思う。大学ごとにバラバラでやられても、全てには参加できない。3つか4つ程度のグループとなることを願う。

1人の学生さんに複数のイベントでお会いできることがあり、理解が深まりうれしく思います。

年間スケジュールなどが早々に分かると早めに準備ができて助かります。

ぜひ、今後も大学同士の連携を続けていただきたい。

参加学生数をより増やしていただけると幸いです

## [8] 今後、博士人材へ期待すること・要望など（企業のみ）

1	優秀かつ日々努力されている方が多く、特段ございませんが、自然科学系の博士の方であれば、企業への就職を希望する場合、人文・社会学系、ビジネス系の知識への興味を普段からも持たれるとより俯瞰的・多面的視点で、自身の研究の価値を捉えることができるかなと思います。
2	自社研究所における北大OB4名が担っている役割は大きいし、プロジェクト推進に大きく貢献している。今後も、北大からの採用する事をマネジメントの総意として希望している。何か、お手伝い出来る事があれば、協力しますので、おっしゃってください。
3	博士課程修了後、どんな仕事をしたいのか可能な限り明確にしておくの良いかもしれない。そのためには、自分はどんなことができ、どんなことができないかを知ることが大切だと感じます。
4	研究遂行能力は、学位取得を通し十分獲得できると思われまので、その能力を適切に伝達できるプレゼンテーション能力を伸ばしていただければと思います。
5	弊社としては専門性の深さを期待しています。私個人としては業務への熱意があり、話しやすい方と一緒に働きたいという思いがあります。
6	納得できる就職先が見つかるよう、今後も引き続きがんばってください、という気持ちです
7	主体性、行動力があり、深く考える力のある博士人材を育成していただきたいと思います。
8	狭い技術領域の専門家と思わないで欲しい。鍛えた能力で勝負する気持ちを持って欲しい。
9	高い専門性、及び、テーマ設定する力(担当教員から指示でない自立したテーマ設定)
10	交流会では聞きにくい事、給料や待遇、社内制度などについて、正直に聞いて欲しい。
11	専門性にとらわれすぎず、幅広い視野で企業を探していただけたらと思います。
12	専門性に拘らず、広い視野で進路を考え、必要な力をつけて行って欲しい。
13	専門分野を突き詰めた経験が修士との差別化になるので、そこを期待します
14	どんな分野であっても工学的に手を動かせる人材を求めています。
15	是非様々なキャリアを考えていただきたいと思います。
16	専門にとらわれずに就職を考えて欲しい
17	高い専門知識、コミュニケーション能力
18	高い専門性 やり切る力 チャレンジ
19	もっと積極的だったらと思います。
20	深く専門性を磨いて欲しい。
21	自身の研究の社会実装
22	研究業務の即戦力
23	専門性の高さ

## [9] 全体を通して、「赤い糸会」（赤い糸ONLINE）についての意見、要望など

### 博士人材

1	このイベントに直接参加できて、就職活動にとっても役立ったと思います。日本企業、そのビジョン、博士号取得者に期待することについて多くのことを学びました。また中小企業やNPO/NGOなどこのようなイベントに参加をしたら、就職活動の選択肢について学生の理解を深めるかと思います。
2	対面イベントはやはり楽しいです。分野は違いましたが、敢えて、異分野の交流会に参加して良かったです。企業によっては、会社としての新分野開拓も力を入れているので、そうした企業との出会いも、今後に活かせると思いました。準備は大変でしたが、参加して良かったです。
3	ポスターや企業ブースなどで少人数化されていたため、企業の方々とコンタクトが非常に取りやすかった。一方で、午前の部は2時間休憩がほとんどなかったため、企業のプレゼンテーションの途中で集中が切れてしまった。5分程度で良いので間に小休止が欲しかったように思う。
4	コロナの状況下で昼食を提供するのであれば夕食も同様に提供しても良いのではないかと思います。それとは別に、企業ブースを回る順番を事前に指定されないでその場で自分で決めてしまえるというのはとても良いと思います。交流が非常にやりやすかったです。
5	対面開催の赤い糸会は初めての参加であったが、オンラインと比較して円滑なコミュニケーションができるため、今後の赤い糸会も情勢が許す限りは対面開催していただくと学生側としてはありがたいと感じた。
6	フォローアップが非常に丁寧であり、就活そのものに不慣れな人間でも想像以上に簡単に企業の採用担当者と繋がりを持つことができましたと感じています。関係者の皆様へ感謝申し上げます。
7	新型コロナの影響だと思いますが懇親会でお酒や食事が無いのは懇親会としてあまり意味がないのではないのでしょうか。そのぶん企業ブースの時間を増やしたほうが良いと思いました。
8	ポスター発表に来て頂きたい企業の事前アンケートによって、希望している企業の方々から発表を聞きに来て貰えたと感じたため、とても良かった。
9	企業ブース交流会では短くて良いので、水分補給の休憩があった方が良かったと感じた。私自身も最後の方に訪れた企業の方も大変そうだった。
10	午前中の企業からの講演において途中で休憩時間が欲しかったです。集中力が欠けてくるのとトイレに行きたくても行けない状況でした。
11	オンラインよりも今回の対面の方がより深く議論することが出来て良かったため、対面での開催を増やしてほしい。
12	今よりもアカデミア志望の学生にも積極的に参加を促すことで、もっと活発な会になると感じました。
13	オンラインはお手軽ではあるけれど、やはり実際会って話してみると雰囲気もわかってよかった。
14	時間がタイトすぎる。もう少しゆとりを持たせた方が、学生・企業側両方にとって良いと思う。
15	各セクションの間に適宜休憩時間を設けていただくと、お互いに負担が減ると思いました。
16	マッチングイベントの紹介について、事前に写真などで当日の雰囲気をイメージしたい。
17	意見交流会がブース訪問と趣旨が被る部分が多く、時間が少し余ってしまいました
18	S-cubicの皆様は大変お世話になっております。ありがとうございます😊
19	企業とコミュニケーションを取れる時間が長くてよかったと思います。
20	参加募集の締切期日が早すぎる点を改善してほしいです。
21	D進する後輩にぜひ参加を勧めたいと思いました。
22	優秀賞の方のポスター発表を聞きたい
23	最後の交流会に椅子があるといいです
24	コロナ以前の形式で参加してみたい
25	とても良い経験になっています。
26	対面でお話できて良かったです。
27	とても良かった。

## 企業

	とても良い機会を頂きまして、ありがとうございます。スタッフの皆様の入念な準備で、スムーズに参加することができております。一方、今回に関して、朝から夜まで、休憩時間が少ないことが気になりました。学生も企業側もちょっと疲れきっております(スタッフの皆様も)。うまく時間設定を工夫できると良いなと思いました。 例1:企業発表は7分から5分に短縮する 例2:ポスターの横に椅子を置き、学生も合間に休憩できるようにする 例3:昼の休憩時間に、スクリーンに連絡事項や企業紹介を投影する 例4:遠方から参加企業が多いので、19:20頃に終了ではなくても、20時前後に終了という形でも企業側として問題はないです。 例5:リフレッシュのため、コーヒー、紅茶等も用意頂けると嬉しい。
2	コロナの影響と理解しますが、最後の懇親会はもったいなかったですね。実際会話できることはブースと変わらなかったの、あれならブースをのばすか、早く切り上げる方が今年はやかったかもしれません。
3	ポスターの作り方なども指導されているので、内容的に、専門的なものと人物的なものとのバランスが良く、多くのポスターを疲れずに見ることができる。当社にとっては良い出会いの場となっている。
4	当日の運営も洗練されており、多くの博士人財と交流できました。ありがとうございました。全体の博士人財の数が減っているためか、企業の数に対して、学生の数が少ないように感じました。
5	ショートトーク時の各種注意事項(レーザーポインター、ページめくりリモコン、視認できるタイマーの場所等)の事前案内があれば、よりスムーズだったと思います。
6	先生方のご尽力により、コミュニケーション能力の高い学生さんが多くいらっしゃると感じます。文系の方も参加されるようでしたら当社としてはうれしい限りです。
7	ポスター発表の時間で多くの学生と交流でき、学生の思いをじっくり聞くことができ有意義な時間を過ごすことができました。今後とも宜しくお願い致します。
8	あらゆる専門性を持った学生がおり、対面式での実施でマッチングの可能性を高めることができるので、企業にとっても非常に有意義な会です。
9	コロナ感染が収まりましたら、以前のように参加人数を増やし、飲食も可とした、密なイベントに戻して欲しい。
10	コロナと言う制約が多い中、色々と工夫をして頂いて、良い運営であると思います。ありがとうございます。
11	参加された学生は就職を視野に入れられているので良い機会であると思います。
12	私も赤い糸会OBですが、当時と変わらず活気のある良い催しだと思いました。
13	大変貴重な機会をいただけております。今後ともよろしく願いいたします。
14	対面の赤い糸会は踏み込んだ部分まで深い話をできるのが良いと感じた。
15	非常にありがたい会で、毎年参加させて頂きたいと思います。
16	企業にとっても学生にとっても良いイベントだと思います
17	セパレーターで声が聞き取りづらいことがありました。
18	たくさんの博士と深く交流できてよかった。
19	学生がもっと積極的だったらと思います。
20	ライブでの開催を次回以降も希望します。
21	現地開催のメリットは大きいと思います。
22	対面を増やして欲しい

## [10] J-window (先端人材育成センター担当教員との面談、エントリーシートなどの添削、面接練習)の利用について

- 既に利用している
- 今後利用してみたい
- どちらでもない
- 利用する予定はない

